

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 長野県上高井郡高山村立高山中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒382-0825

長野県上高井郡高山村大字高井4575

E-mail info@takayama-j.ed.jp

Website http://www.takayama-j.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 115名 女子 93名 合計 208名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「故郷高山村と私」を活動テーマとして、ESDを地域との関わりやつながりを尊重できる個人を育むとともに地域を担う人材の育成と捉え、ESDの実践を通して地域に学ぶ学習とそれを発信する力の育成を目標とした。

具体的には、総合的な学習の時間を中心に①桜に係わる学習、②ワインぶどうに係わる学習、③学有林に係わる学習、④学んだことを発信する活動を行った。

①桜に係わる学習

3年生は、修学旅行で訪れた京都で、高山村と同じしだれ桜が有名な円山公園の桜に注目し、京都円山公園の桜はどんな人たちがどのようにして、保全活動を行っているのか、京都市役所の方にお話をお聞きした。

この講演からこの学んだことを高山村にいかしていきたいと考え、高山村の桜の保全活動を継続した。

②ワインぶどうに係わる学習

近年、注目されている高山村のワインぶどう産業を知るために、ワインぶどう栽培農家の方や高山村にできたワイナリーの方にお話をお聞きした。
また、実際にワインぶどう栽培の体験学習やワイナリーの見学も行った。

③学有林に係わる学習

1年生は、総合的な学習の時間にシイタケ、ナメコの駒打ち体験学習と駒打ちしたほだ木を学校観察林に本伏せする体験学習を行った。

④学んだことを発信する活動

①～③で学んだことを中心に、生徒たちが自分たちの力で、村のためにできることを考え、中学生議会で提言を行う。



① の写真（京都の講演会）



② の写真（除葉作業）



③ の写真（キノコの駒打ち）



④ の写真（中学生議会）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input checked="" type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教育計画にユネスコスクールの取り組みを位置づけ、総合的な学習の時間を含め、各学年で年間の指導計画を検討するようにしている。
学年によって取り組んでいくテーマが違い、生徒の課題意識から学習がスタートしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

総合的な学習の時間の主担当をユネスコスクール担当に位置づけ、各学年の取り組みが、持続可能な社会の構築に少しでもつなげられるよう、校務分掌を変更した。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校関係者評価として『高山村共育コミュニティースクール運営委員会』をこれに充て、自己評価についての評価を実施している。
運営委員の方から、ユネスコスクールとしても、これまでの活動のよさを大きく評価していただくとともに、今後も地域と中学校との交流を深めていって欲しいとご意見をいただいた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

文化祭での発表や中学生議会で、
①ワイン作りに関わる産業に対する高山村の支援・援助体制と将来的展望についての質問
②将来、ワイン作りに関わる産業に携わることによって、ふるさと高山村を維持し、発展させていくためにさらなる支援・援助をお願いしたいという要望などを提言した。村当局が中学生の提言に期待を寄せている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

ESDコンソーシアムでの成果発表会などで、企業の参画を知り、資料の交換を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

総合的な学習の時間だけでなく、日々の教科学習での発言や取り組みの中でも、生徒自ら考え、学ぼうとする姿勢が多く見られるようになった。
生徒自身が自分の村のよさを知るとともに、ひとりの村民として、何ができるか具体的に考え、実践していこうとする姿が見えてきている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

総合的な学習の時間を中心に各学年で学習をすすめていく。
（桜、ワインぶどう、温泉、防災、平和、観光など）

5 / 24～25	故郷たかやまデー①（地域を知る学習）
5 / 31	キノコの駒打ち
6 / 6	キノコの本伏せ
7 / 20	故郷たかやまデー②（地域を知る学習）
9 / 28	文化祭での発表